

7月1日（土）夕方より提灯行列

雑餉隈町子ども会による提灯行列が3年ぶりに再開します！雑餉隈町の大切な継承行事です。子どもたちの太鼓の音が聞こえたら、どうぞお賽銭を入れて応援していただきますようお願いいたします。

子どもたちから「かんのんさま」と呼ばれている雑餉隈聖観世音堂のことをご存じですか？お堂は保存会の方々がきれいに管理され、格子戸の中には、高さ約60cmの聖観音立像があります。

ヒノキの寄木造で、頭に透かし彫りの宝冠をつけ、眼と眉間に水晶がはめ込まれているため眼のあたりが光って見え、両肩に衣をかけた観音像は県内では例がなく珍しい物です。木像の体内には室町時代1414年に作られたという記録があり、実に600年を超えています！

宿場町として栄えた時代に、地域の人のみならず、多くの旅人を見守ってくださったのです。

また、赤ちゃんが無事に生まれ、そしてすくすくと元気に育つように守ってくれるという伝説があります。

その起源となったお祭りが現在、雑餉隈町子ども会で毎年行っている提灯行列であり、今日に至るまで数百年引き継がれています。毎年7月に子どもたちが提灯に灯をともして雑餉隈町区内を練り歩く時は、家の前を出て楽しそうな子どもたちの賑やかな行列に拍手を送り、上級生が担ぐ賽銭箱に賽銭を投げ入れて子ども達の成長を祈ってくださいね。

（鎮西上人の伝説や六月堂というお祭りについて知りたい方は公民館に資料があります。）※赤司岩男雄著「大野城市巡杖記」より抜粋



もくぞうしょうかんのんりゅうぞう 木造聖観音立像

福岡県指定有形文化財
雑餉隈町2丁目5-25

